

急性喉頭蓋炎・喉頭浮腫

年 月 日 担当医



どんな病気ですか？

- 急性喉頭蓋炎・喉頭浮腫は、声帯の上のところにある喉頭蓋(こうとうがい)が、細菌感染によって腫れる病気です。腫れが急速に進行し大きくなると、窒息により死亡することもあります。
- 初発の症状としては、強いのどの痛みや、物を飲み込むときの痛みがあり、声がこもる感じを自覚することがあります。
- 喫煙や糖尿病が背景にあるとされます。
- 急性喉頭蓋炎・喉頭浮腫が疑われたときは、窒息の恐れもあるので、早急な診断が必要です。
- 間接喉頭鏡や喉頭内視鏡を用いて検査します。X線検査により喉頭蓋炎を鑑別することもあります。



今後の検査などの説明

- 喉頭蓋の腫脹を認める場合は、呼吸困難がない場合でも入院しての治療が必要です。
- 呼吸困難があれば、すぐに気管に気管内チューブを挿入したり、気管を切開したりして、気道確保をします。
- 喉頭の感染・腫脹の治療のために、抗生物質、ステロイド治療をします。糖尿病を合併している場合は、ステロイドにより糖尿のコントロールができなくなるので、その治療も併せて行います。